

商品についての付加サービス提供方法および提供システム

発明の技術的背景

本発明は、市場に流通させる商品に付加価値を与え、この付加価値に基いて付加的なサービスを提供する方法およびこれを実現するためのシステムに関し、特に、商品に付与された識別コードを用いてインターネット経由でアクセスしてきたユーザに対して、ゲーム、クイズ、易情報などを提供する技術に関する。

個々の商品が本来備えている価値とは別に、その商品の機能とは直接関係しない付加価値を与えることにより販売促進を図る、という手法は古くから利用されてきた古典的手法であり、現在も種々の商品について利用されている。たとえば、本来の商品である菓子に「おまけ」として玩具を添附して販売したり、逆に、本来の商品である玩具に「おまけ」として菓子を添附して販売したりする手法は、典型的な販売促進方法として現在も広く利用されている。この他、景品引換券や懸賞応募券といった「クーポン券」を商品に添附するような方法も広く行われている。

上述したように、商品に「おまけ」や「クーポン券」を添附するという手法は、現在でも十分に効果のある販売促進手法である。しかしながら、パソコンや携帯電話の普及により、社会生活の基盤として、インターネットなどの新しい情報メディアが占める割合は今後も益々高まってゆくものと思われ、商品に与える付加価値も、インターネットなどの新しい電子情報メディアにおける利用を念頭に入れて考慮する必要がある。特に、若年層のインターネット利用度は極めて高く、このような若年層をターゲットとする商品については、従来の「おまけ」や「クーポン券」に代わる新たな付加価値を付与した販売形態が求められている。

発 明 の 概 要

本発明は、上記問題を解決するためになされたものであり、その目的は、電子情報メディアへの利用に適した付加価値を商品に付与することにより効果的な販売促進が期待できる付加サービス提供方法および提供システムを提供することにある。

(1) 本発明の第1の態様は、市場に流通させる商品に付加価値を与え、この付加価値に基いて付加的なサービスを提供する商品についての付加サービス提供方法において、

第1の事業者が出荷する商品に第1の識別コードを付加し、第2の事業者が出荷する商品に第2の識別コードを付加する識別コード付加段階と、

2種類の識別コードを同時にもしくは期間において別々に入力する第1の機能と、この入力した識別コードの一方が第1の識別コードであり、他方が第2の識別コードであることを確認する第2の機能と、通信装置を利用して所定のサービスを提供する第3の機能と、を有するサーバ装置を用意するサーバ装置準備段階と、

ユーザの操作する端末装置からサーバ装置にアクセスがあったときに、サーバ装置に第1の機能を実行させることにより端末装置から識別コードを入力し、サーバ装置に第2の機能を実行させることにより入力した識別コードの確認を行わせ、当該確認が得られたことを条件としてサーバ装置に第3の機能を実行させることによりユーザに対して所定のサービスを提供させるサービス提供段階と、

を行うようにしたものである。

(2) 本発明の第2の態様は、市場に流通させる商品に付加価値を与え、この付加価値に基いて付加的なサービスを提供する商品についての付加サービス提供方法において、

第1の事業者が出荷する商品に第1の識別コードを付加し、第2の事業者が出荷する商品に第2の識別コードを付加する識別コード付加段階と、

識別コードを入力する第1の機能と、この入力した識別コードが第1の識別コードまたは第2の識別コードであることを確認する第2の機能と、通信装置を利用して第1属性のサービスまたは第2属性のサービスを選択的に提供する第3の機能と、を有するサーバ装置を用意するサーバ装置準備段階と、

ユーザの操作する端末装置からサーバ装置にアクセスがあったときに、サーバ装置に第1の機能を実行させることにより端末装置から識別コードを入力し、サーバ装置に第2の機能を実行させることにより入力した識別コードの確認を行わせ、第1の識別コードまたは第2の識別コードのいずれか一方の入力が確認され

たことを条件として、サーバ装置に第3の機能を実行させることによりユーザに対して第1属性のサービスを提供させ、第1の識別コードおよび第2の識別コードの双方の入力が確認されたことを条件として、サーバ装置に第3の機能を実行させることによりユーザに対して第2属性のサービスを提供させるサービス提供段階と、

を行うようにしたものである。

(3) 本発明の第3の態様は、市場に流通させる商品に付加価値を与え、この付加価値に基いて付加的なサービスを提供する商品についての付加サービス提供方法において、

第1の事業者が出荷する商品に第1の識別コードを付加し、第2の事業者が出荷する商品に第2の識別コードを付加する識別コード付加段階と、

識別コードを入力する第1の機能と、この入力した識別コードが第1の識別コードまたは第2の識別コードであることを確認する第2の機能と、通信装置を利用して第1属性のサービス、第2属性のサービス、第3属性のサービスを選択的に提供する第3の機能と、を有するサーバ装置を用意するサーバ装置準備段階と、

ユーザの操作する端末装置からサーバ装置にアクセスがあったときに、サーバ装置に第1の機能を実行させることにより端末装置から識別コードを入力し、サーバ装置に第2の機能を実行させることにより入力した識別コードの確認を行わせ、第1の識別コードの入力が確認されたことを条件として、サーバ装置に第3の機能を実行させることによりユーザに対して第1属性のサービスを提供させ、第2の識別コードの入力が確認されたことを条件として、サーバ装置に第3の機能を実行させることによりユーザに対して第2属性のサービスを提供させ、第1の識別コードおよび第2の識別コードの双方の入力が確認されたことを条件として、サーバ装置に第3の機能を実行させることによりユーザに対して第3属性のサービスを提供させるサービス提供段階と、

を行うようにしたものである。

(4) 本発明の第4の態様は、上述の第1～第3の態様に係る商品についての付加サービス提供方法において、

サーバ装置の第1の機能により第1の識別コードと第2の識別コードとの双方

が入力された場合に、これら２種類の識別コードの入力順に応じて、サーバ装置の第３の機能により提供されるサービスの内容を変えるようにしたものである。

(５) 本発明の第５の態様は、上述の第１～第４の態様に係る商品についての付加サービス提供方法において、

第１の識別コードまたは第２の識別コードのいずれか一方または双方に、複数通りのパターンを用意しておき、入力された識別コードのパターンに応じて、サーバ装置の第３の機能により提供されるサービスの内容を変えるようにしたものである。

(６) 本発明の第６の態様は、市場に流通させる商品に付加価値を与え、この付加価値に基づいて付加的なサービスを提供する商品についての付加サービス提供方法において、

複数 n 組の事業者が出荷する商品にそれぞれ各事業者固有の識別コードを付加する識別コード付加段階と、

複数種類の識別コードを同時にもしくは期間をおいて別々に入力する第１の機能と、この入力した各識別コードが各事業者の識別コードであることを確認する第２の機能と、通信装置を利用して所定のサービスを提供する第３の機能と、を有するサーバ装置を用意するサーバ装置準備段階と、

ユーザの操作する端末装置からサーバ装置にアクセスがあったときに、サーバ装置に第１の機能を実行させることにより端末装置から識別コードを入力し、サーバ装置に第２の機能を実行させることにより入力した識別コードが複数 n 組の事業者のすべてもしくは一部の識別コードであることの確認を行わせ、当該確認が得られたことを条件としてサーバ装置に第３の機能を実行させることによりユーザに対して所定のサービスを提供させるサービス提供段階と、

を行うようにしたものである。

(７) 本発明の第７の態様は、上述の第１～第６の態様に係る商品についての付加サービス提供方法において、

サーバ装置の第３の機能により提供されるサービスとして、ユーザの操作する端末装置に対するゲームの提供、クイズの提供、または易情報提供を行うようにしたものである。

(8) 本発明の第8の態様は、市場に流通させる商品に付加価値を与え、この付加価値に基いて付加的なサービスを提供する機能を有する商品についての付加サービス提供システムにおいて、

第1の識別コードを発生させる第1の識別コード発生装置と、

第2の識別コードを発生させる第2の識別コード発生装置と、

第1の事業者が出荷する商品に第1の識別コードを付加する第1の識別コード付加装置と、

第2の事業者が出荷する商品に第2の識別コードを付加する第2の識別コード付加装置と、

ユーザから異なる2種類の識別コードを同時にもしくは期間をおいて別々に入力し、この入力した識別コードの一方が第1の識別コードであり、他方が第2の識別コードであることを確認した上で、ユーザに対して所定のサービスを提供するサービス提供装置と、

を設けるようにしたものである。

(9) 本発明の第9の態様は、市場に流通させる商品に付加価値を与え、この付加価値に基いて付加的なサービスを提供する機能を有する商品についての付加サービス提供システムにおいて、

第1の識別コードを発生させる第1の識別コード発生装置と、

第2の識別コードを発生させる第2の識別コード発生装置と、

第1の事業者が出荷する商品に第1の識別コードを付加する第1の識別コード付加装置と、

第2の事業者が出荷する商品に第2の識別コードを付加する第2の識別コード付加装置と、

ユーザから識別コードを入力し、この入力した識別コードが第1の識別コードまたは第2の識別コードであることを確認する機能を有し、第1の識別コードまたは第2の識別コードのいずれか一方が入力されたことを条件として、ユーザに対して第1属性のサービスを提供し、第1の識別コードおよび第2の識別コードの双方が入力されたことを条件として、ユーザに対して第2属性のサービスを提供するサービス提供装置と、

を設けるようにしたものである。

(10) 本発明の第10の態様は、市場に流通させる商品に付加価値を与え、この付加価値に基いて付加的なサービスを提供する機能を有する商品についての付加サービス提供システムにおいて、

第1の識別コードを発生させる第1の識別コード発生装置と、

第2の識別コードを発生させる第2の識別コード発生装置と、

第1の事業者が出荷する商品に第1の識別コードを付加する第1の識別コード付加装置と、

第2の事業者が出荷する商品に第2の識別コードを付加する第2の識別コード付加装置と、

ユーザから識別コードを入力し、この入力した識別コードが第1の識別コードまたは第2の識別コードであることを確認する機能を有し、第1の識別コードが入力されたことを条件として、ユーザに対して第1属性のサービスを提供し、第2の識別コードが入力されたことを条件として、ユーザに対して第2属性のサービスを提供し、第1の識別コードおよび第2の識別コードの双方が入力されたことを条件として、ユーザに対して第3属性のサービスを提供するサービス提供装置と、

を設けるようにしたものである。

(11) 本発明の第11の態様は、上述の第8～第10の態様に係る商品についての付加サービス提供システムにおいて、

ユーザから第1の識別コードと第2の識別コードとの双方が入力された場合に、これら2種類の識別コードの入力順に応じて、サービス提供装置から提供されるサービスの内容を変えるようにしたものである。

(12) 本発明の第12の態様は、上述の第8～第11の態様に係る商品についての付加サービス提供システムにおいて、

第1の識別コードまたは第2の識別コードのいずれか一方または双方に、複数通りのパターンを用意しておき、入力された識別コードのパターンに応じて、サービス提供装置から提供されるサービスの内容を変えるようにしたものである。

(13) 本発明の第13の態様は、上述の第8～第12の態様に係る商品について

ての付加サービス提供システムにおいて、

サービス提供装置により提供されるサービスとして、ユーザに対するゲームの提供、クイズの提供、または易情報の提供を行うようにしたものである。

(14) 本発明の第14の態様は、上述の第8～第13の態様に係る商品についての付加サービス提供システムにおいて、

第1の識別コード付加装置または第2の識別コード付加装置のいずれか一方または双方が、出荷する商品のパッケージに識別コードを印刷する機能を有するようにしたものである。

(15) 本発明の第15の態様は、上述の第8～第13の態様に係る商品についての付加サービス提供システムにおいて、

第1の識別コード付加装置または第2の識別コード付加装置のいずれか一方または双方が、出荷する商品のパッケージ内に識別コードの印刷物を添附する機能を有するようにしたものである。

(16) 本発明の第16の態様は、上述の第8～第15の態様に係る商品についての付加サービス提供システムにおいて、

サービス提供装置が、第1の識別コード発生装置および第2の識別コード発生装置と通信する機能を有し、第1の識別コード発生装置および第2の識別コード発生装置への問合せにより、入力された識別コードについての確認処理を行うようにしたものである。

(17) 本発明の第17の態様は、上述の第8～第15の態様に係る商品についての付加サービス提供システムにおいて、

第1の識別コード発生装置および第2の識別コード発生装置が、それぞれ所定のアルゴリズムに基づいて第1の識別コードおよび第2の識別コードを発生する機能を有し、

サービス提供装置が、この所定のアルゴリズムに基づいて、入力された識別コードについての確認処理を行うようにしたものである。

(18) 本発明の第18の態様は、上述の第8～第15の態様に係る商品についての付加サービス提供システムにおいて、

サービス提供装置を、ネットワークに接続されたサーバ装置によって構成し、

ユーザの操作する端末装置からネットワークを介して識別コードの入力を行い、ユーザの操作する端末装置に対してネットワークを介してサービスの提供を行うようにしたものである。

図面の簡単な説明

図１は、本発明の一実施形態に係る商品についての付加サービス提供システムの基本構成を示すブロック図である。

図２は、図１のサービス提供装置３０のもつ３つの機能を示す図である。

図３は、図１のサービス提供装置３０によるサービス提供形態の例を示す図である。

図４は、図３に示すサービス提供形態の変形例を示す図である。

図５は、図３に示すサービス提供形態の更に別な変形例を示す図である。

好ましい実施形態の説明

以下、本発明を図示する実施形態に基づいて説明する。

<<< § １．発明を実施する上での基本構成 >>>

図１は、本発明の一実施形態に係る商品についての付加サービス提供システムの基本構成を示すブロック図である。このシステムの特徴は、第１の事業者Ｘ（ここでは、説明の便宜上、菓子メーカーであったとする）が出荷する商品ｘ（この例では菓子）と、第２の事業者Ｙ（ここでは、説明の便宜上、玩具メーカーであったとする）が出荷する商品ｙ（この例では玩具）と、を市場に流通させるにあたって、それぞれ付加価値を与えるようにし、商品ｘに与えられた付加価値と商品ｙに与えられた付加価値とを連携させることにより、付加的なサービスの提供を行う点にある。

このシステムの基本的な構成要素は、第１の識別コードを発生させる第１の識別コード発生装置１０、第２の識別コードを発生させる第２の識別コード発生装置２０、第１の事業者Ｘが出荷する商品ｘに第１の識別コードを付加する第１の識別コード付加装置１１、第２の事業者Ｙが出荷する商品ｙに第２の識別コードを付加する第２の識別コード付加装置２１、ユーザに対して所定のサービスを提

供するサービス提供装置 30 である。

第 1 の識別コード発生装置 10 および第 2 の識別コード発生装置 20 で発生させる識別コードは、どのようなコードであってもかまわない。一般的には、数桁の数字や英文字、あるいはこれらの組み合わせからなるコードを用いればよい。第 1 の識別コードは商品 x に付与され、第 2 の識別コードは商品 y に付与されることになるが、実用上は、付与される各識別コードは個々の商品ごとに異なるユニークな番号となるようにしておくのが好ましい。したがって、実際には、商品の出荷数量を考慮して、各商品ごとにユニークな識別コードが付与できるように、各識別コードを構成する数字や英文字の桁数を十分に確保しておくのが好ましい。もっとも、生鮮食品など、商品の性質から流通過程に長期間滞留することがない場合には、一定期間内に出荷される商品に関してユニークな識別コードが付与されるようにしておけば十分である。ここでは、説明の便宜上、第 1 の識別コード発生装置 10 で発生される識別コードを ID (A) と表現し、第 2 の識別コード発生装置 20 で発生される識別コードを ID (B) と表現することにする。もちろん、識別コード ID (A) や ID (B) は、それぞれ各商品ごとに異なっている。

第 1 の識別コード付加装置 11 は、第 1 の識別コード発生装置 10 で発生した第 1 の識別コード ID (A) を、第 1 の事業者 X が出荷する製品 x に付加する機能を有していれば、具体的には、どのような装置で構成してもかまわない。同様に、第 2 の識別コード付加装置 21 も、第 2 の識別コード発生装置 20 で発生した第 2 の識別コード ID (B) を、第 2 の事業者 Y が出荷する製品 y に付加する機能を有していれば、具体的には、どのような装置で構成してもかまわない。識別コードを商品に付加する最も簡単な方法は、出荷する商品のパッケージに識別コードを印刷する方法である。この場合は、商品パッケージの印刷装置が、識別コード付加装置 11、21 として機能し、識別コード ID (A)、ID (B) は、商品パッケージの一部に刷り込まれることになる。ただ、商品パッケージに識別コードを刷り込む方式の場合、店頭で商品を購入せずに、識別コードのみをメモリ、これを利用してしまふ、という不正が行われる可能性があるため、実用上は、パッケージを開封しないと目に触れない箇所に印刷すると、識別コードの印刷

部分を覆い隠すような包装を施すなどの工夫が必要になる。この他、商品パッケージとは別に、識別コードID (A)、ID (B) が提示された印刷物を作成し、この識別コードの印刷物を商品パッケージ内に添附してもよい。この場合は、印刷物を作成する印刷装置と、これをパッケージに同梱させるための装置が、識別コード付加装置11、21として機能することになる。識別コードが印刷された印刷物として、たとえば、キャラクターカードなどのいわゆる「おまけ」を利用することも可能である。

本発明の基本概念は、このようにして、第1の識別コードID (A) が付加された商品x (菓子) と、第2の識別コードID (B) が付加された商品y (玩具) と、を市場に流通させ、これら双方を購入したユーザに対して、付加的なサービスを提供しよう、という点にある。付加的なサービスの提供方法としては、種々の方法が考えられるが、本願発明者が最も有効と考えている方法は、インターネットを利用した方法である。そこで、ここで述べる実施形態では、サービス提供装置30が、インターネット40を利用して、ユーザに対して所定のサービスを提供する例について述べることにする。したがって、この実施形態では、サービスを受けるユーザは、インターネット40に接続する環境を有している必要がある。図示の端末装置51～53 (実際には、多数の端末装置がインターネット40に接続されている) は、いずれもユーザがインターネット40に接続するために操作する端末装置であり、具体的には、パソコンや携帯電話などによって構成される。一方、サービス提供装置30は、インターネット40に接続されたサーバ装置によって構成されている。一般的には、サービス提供装置30をWebサーバ装置によって構成し、端末装置51～53にインストールされたWebブラウザソフトウェアを利用して、サービス提供装置30へのアクセスが可能ないようにしておけばよい。

ここでは、あるユーザが、商品xと商品yとの双方を購入し、端末装置51を用いてサービス提供装置30からのサービスの提供を受けるまでの手順を説明しよう。ユーザは、まず、端末装置51のWebブラウザ機能を用いて、サービス提供装置30 (Webサーバ装置) がインターネット40上で公開している所定のWebページにアクセスする。このようなアクセスを行うために必要な情報、

すなわち、当該WebページのURLアドレスは、たとえば、商品xや商品yのパッケージや説明書に記載しておくようにすればよい。

サーバ装置30は、図2に示すように、3つの機能を有している。第1の機能は、識別コードの入力機能であり、インターネット40を介して、端末装置51から入力された識別コードを取り込む機能である。ユーザは、サーバ装置30から提示されるWebページ上の指示に従って、商品xあるいは商品yに付加されてきた識別コードを、端末装置51から入力する操作を行うことになる。

第2の機能は、識別コードの確認機能であり、上述の第1の機能によって取り込まれた識別コードが、第1の識別コード発生装置10で発生された第1の識別コードID(A)であるか否か、第2の識別コード発生装置20で発生された第2の識別コードID(B)であるか否か、を確認する機能である。図1に示す実施形態では、サーバ装置30は、第1の識別コード発生装置10および第2の識別コード発生装置20と通信する機能を有しており(図1には、インターネット40とは別個の通信装置により通信を行う例が示されているが、もちろん、インターネット40経由で通信を行ってもかまわない)、第1の識別コード発生装置10および第2の識別コード発生装置20への問合せにより、入力された識別コードについての確認処理を行うことができる。この場合、第1の識別コード発生装置10および第2の識別コード発生装置20には、それぞれ過去に発行した識別コードを記録格納しておくようにし、サーバ装置30から特定の識別コードについての問合せがあったときに、過去の記録を参照することにより、当該識別コードが過去に発行した識別コードであるか否かを回答できるようにしておく。サーバ装置30は、この回答に基づいて、ユーザが入力した識別コードが、第1の識別コードID(A)であるか否か、第2の識別コードID(B)であるか否か、を確認することができる。

なお、サーバ装置30の第2の機能は、必ずしも第1の識別コード発生装置10あるいは第2の識別コード発生装置20に対する問合せに基づいて行う必要はない。たとえば、第1の識別コード発生装置10および第2の識別コード発生装置20が、それぞれ所定のアルゴリズムに基づいて第1の識別コードID(A)および第2の識別コードID(B)を発生する機能を有していた場合には、この所定

のアルゴリズムに基いて、ユーザが入力した識別コードが、第1の識別コード発生装置10で発生された第1の識別コードID(A)であるのか、第2の識別コード発生装置20で発生された第2の識別コードID(B)であるのか、を確認する処理をサーバ装置30に行わせることも可能である。たとえば、特定の秘密コードに特定の演算を施すことによって識別コードを生成するようなアルゴリズムを用いることにすれば(秘密コードまたはアルゴリズムは、第1の識別コード発生装置10と第2の識別コード発生装置20とで異ならせておく)、ある識別コードが、特定の秘密コードや特定のアルゴリズムに基いて発生されたものであるか否かの検証が可能である。このような場合は、第1の識別コード発生装置10や第2の識別コード発生装置20へ問合せを行うことなしに、サーバ装置30内で検証処理を行うことにより、ユーザから入力された識別コードが、第1の識別コードID(A)であるのか、第2の識別コードID(B)であるのかを確認することができる。

サーバ装置30の第3の機能は、サービスの提供機能である。提供対象となるサービスは、ユーザに対するサービスであれば、どのようなサービスでもかまわない。ただ、ここに示す実施形態では、サービス提供装置30は、インターネット40に接続されたWebサーバ装置によって構成されているので、ユーザに対するサービスも、インターネット40を利用して端末装置51に対して提供できるサービスにするのが好ましい。たとえば、ユーザに対するゲームの提供、クイズの提供、または易情報の提供などのサービスは、インターネット40を利用して提供するのに適している。これら具体的なサービスの内容については、後に実施例として述べることにする。

<<< §2. サービスの提供形態 >>>

上述したように、サーバ装置30の第3の機能として実施されるサービスの提供は、第2の機能として実施された識別コードの確認結果に応じて行われることになる。すなわち、ユーザから入力された識別コードについての確認が行われたことを条件として、当該ユーザに対するゲームの提供、クイズの提供、または易情報の提供などのサービスが行われることになり、ユーザがでたためな識別コードを入力した場合には、サービスの提供は何ら行われることはない。サービスの

提供を受けるためには、ユーザは、商品に添附されていた正しい識別コードを入力する必要がある。このように、正しい識別コードの入力を条件としたサービス提供方式は、商品を購入していない者が、不正な手段で、サービスの提供を受けることを防ぐことができ、著作権保護の観点からも有益である。なお、本発明を実施する上では、正しい識別コードには、第1の識別コードID(A)と、第2の識別コードID(B)との2種類がある。ここで、どの識別コードが入力された場合に、どのようなサービスを提供するか、という点については、いろいろな取り扱いが可能であるが、基本的には、図3に示すような3種類の実施形態を考えることができる。

図3に示す実施形態1は、ユーザから第1の識別コードID(A)と第2の識別コードID(B)とが入力された場合に限り、所定のサービスSを提供する、という取り扱いをするものである。すなわち、ID(A) and ID(B)というAND条件が満たされた場合にだけ、サービスSが提供されることになり、それ以外の場合には、サービスは提供されない。図1に示す例の場合、ID(A)は商品x(菓子)に添附されている識別コードであり、ID(B)は商品y(玩具)に添附されている識別コードであるから、菓子と玩具との双方を購入したユーザだけがID(A)とID(B)との双方を得ることができたユーザだけが、サービスSの提供を受けることができる。実用上は、菓子メーカーである第1の事業者Xと、玩具メーカーである第2の事業者Yとが、共同で「キャンペーンの対象となる特定の菓子と特定の玩具とを購入すると、インターネット上でゲーム、クイズ、占いなどで遊べる」という販売促進用キャンペーンを行うことになる。菓子のみを購入したユーザは、第1の識別コードID(A)しか得ることができないので、第2の識別コードID(B)を得るために玩具を購入しようとするであろうし、逆に、玩具のみを購入したユーザは、第2の識別コードID(B)しか得ることができないので、第1の識別コードID(A)を得るために菓子を購入しようとするであろう。このように、本発明のメリットのひとつは、異なる複数の事業者が相互に連携をとることにより、効果的な販売促進を図ることができる点にある。

なお、この実施形態1を採用する場合には、サーバ装置30は、第1の機能におい

て、ユーザから異なる２種類の識別コードを入力し、第２の機能において、この入力した識別コードの一方が第１の識別コードID（A）であり、他方が第２の識別コードID（B）であることを確認し、この確認が得られることを条件として、第３の機能において、当該ユーザに対してインターネット４０を利用してサービスＳを提供する、という処理を行うことになる。

上述した実施形態１では、商品ｘ（菓子）のみを購入したユーザや、商品ｙ（玩具）のみを購入したユーザには、何らサービスの提供は行われない。これは、サービスＳの提供を受けるための前提条件が、ID（A） and ID（B）という第１の識別コードと第２の識別コードとの双方の入力がなされたとき、という条件設定をしたためである。しかしながら、現実的には、商品ｘ（菓子）と商品ｙ（玩具）とを同時に購入するケースよりも、いずれか一方を先に購入するというケースの方が圧倒的に多いと考えられる。そこで、実用上は、いずれか一方の識別コードしか入手できていない場合にも、何らかのサービスの提供が受けられるようにする方が好ましい。

図３に示す実施形態２は、このような観点に基づく実施形態であり、ユーザから第１の識別コードID（A）または第２の識別コードID（B）のいずれか一方が入力された場合には、第１属性のサービスＳ１１を提供し、双方がともに入力された場合には、第２属性のサービスＳ１２を提供する、という取り扱いをするものである。ここで、第１属性のサービスＳ１１と第２属性のサービスＳ１２とは、後述する実施例に示されているように、内容や品質が異なるサービスであり、一般的には、第２属性のサービスＳ１２の方が、内容や品質が高くなるようにする。結局、ID（A） or ID（B）というOR条件が満たされれば、一応、第１属性のサービスの提供を受けることができるが、ID（A） and ID（B）というAND条件が満たされた場合には、より内容や品質が充実した第２属性のサービスの提供を受けることができるようになる。このような実施形態では、菓子のみを購入したユーザや、玩具のみを購入したユーザは、とりあえず第１属性のサービスＳ１１の提供を受けることができるが、この第１属性のサービスＳ１１の提供を受けることによって、更に内容や品質の充実した第２属性のサービスＳ１２の提供を受けたいと意図することになり、やはり十分な販売促進効果を得

ることができる。

なお、この実施形態2を採る場合には、サーバ装置30は、第1の機能において、ユーザから識別コードを入力し、第2の機能において、この入力した識別コードが第1の識別コードID(A)または第2の識別コードID(B)であることを確認し、第3の機能においては、この確認結果に応じて、第1の識別コードID(A)または第2の識別コードID(B)のいずれか一方が入力された場合には、当該ユーザに対してインターネット40を利用して第1属性のサービスS11を提供し、第1の識別コードID(A)および第2の識別コードID(B)の両方が入力された場合には、当該ユーザに対してインターネット40を利用して第2属性のサービスS12を提供する、という処理を行うことになる。

図3に示す実施形態3は、上述の実施形態2を更に発展させた実施形態である。すなわち、上述の実施形態2では、第1の識別コードID(A)または第2の識別コードID(B)のいずれか一方が入力された場合には、いずれの場合であっても第1属性のサービスS11を提供していたが、この実施形態3では、第1の識別コードID(A)が入力された場合には、第1属性のサービスS21を提供し、第2の識別コードID(B)が入力された場合には、第2属性のサービスS22を提供し、両方の識別コードID(A) and ID(B)が入力された場合には、第3属性のサービスS23を提供する、という取り扱いをするものである。ここで、第1属性のサービスS21、第2属性のサービスS22、第3属性のサービスS23は、互いに内容や品質が異なるサービスであり、一般的には、第1属性のサービスS21および第2属性のサービスS22の品質は同程度であってよいが、これらに比べて第3属性のサービスS23は、内容や品質を高めておくようにすればよい。

この実施形態3を採る場合には、サーバ装置30は、第1の機能において、ユーザから識別コードを入力し、第2の機能において、この入力した識別コードが第1の識別コードID(A)または第2の識別コードID(B)であることを確認し、第3の機能においては、この確認結果に応じて、第1の識別コードID(A)が入力された場合には、当該ユーザに対してインターネット40を利用して第1属性のサービスS21を提供し、第2の識別コードID(B)が入力された場合

には、当該ユーザに対してインターネット 40 を利用して第 2 属性のサービス S 22 を提供し、第 1 の識別コード ID (A) および第 2 の識別コード ID (B) の双方が入力された場合には、当該ユーザに対してインターネット 40 を利用して第 3 属性のサービス S 23 を提供する、という処理を行うことになる。

なお、実用上は、同一の識別コードの入力によるサービス提供の回数には制限を定めておくのが好ましい。たとえば、同一識別コードによるサービス提供回数を 3 回に制限したとすると、図 3 の実施形態 3 の場合、同一の識別コード ID (A) の入力に応じてサービス S 21 の提供を受けられる回数は 3 回までということになり、同一の識別コード ID (B) の入力に応じてサービス S 22 の提供を受けられる回数は 3 回までということになり、また、同一の識別コード ID (A) and ID (B) の入力に応じてサービス S 23 の提供を受けられる回数も 3 回までということになる。このように回数制限を課するようにしておけば、制限回数が満了してしまった場合には、ユーザは新しい商品を再び購入して新たな識別コードを入手しようと意図することになるので、十分な販売促進効果が得られるようになる。このような回数制限を行うには、サーバ装置 30 内において、どの識別コードの入力によってどのサービスがこれまでに何回提供されたかをカウントしておくようにすればよい。

また、上述の各実施形態において、ID (A) and ID (B) のような AND 条件が満たされることを前提として所定のサービスを提供する場合、第 1 の識別コード ID (A) と第 2 の識別コード ID (B) とは、必ずしも同時に入力される必要はなく、同一の端末装置 51 (もしくは、同一のユーザが操作する別な端末装置であってもよい) から 2 つの識別コードが入力されたことが確認できれば、両識別コードの入力時期に期間的隔たりがあってもかまわない。たとえば、上述の実施形態 3 が実施されている場合に、菓子のみを購入したユーザが第 1 の識別コード ID (A) を用いてアクセスを行えば、サービス S 21 の提供を受けることができる。このとき、当該ユーザからこの識別コード ID (A) を用いたアクセスがあったことを記録しておくようにすれば、後日、再び当該ユーザからのアクセスがあった場合には、当該ユーザについては既に識別コード ID (A) が入力済みであることを認識することができる。したがって、このユーザが後口、

玩具を購入して第2の識別コードID (B) を入手し、この識別コードID (B) を用いてアクセスを行えば、サービスS 2 2の提供を受けることができるのは勿論であるが、当該ユーザに関しては、第1の識別コードID (A) と第2の識別コードID (B) との双方が、時間差をもって入力されたことが確認できるので、当該ユーザは、サービスS 2 3の提供を受けることもできるようになる。

本発明を実施する上で、個々のユーザからのアクセスの履歴を記録しておくようにすれば、各ユーザごとにサービスの利用履歴を作成することができ、個々のユーザごとに、どの程度の頻度で商品x, yを購入しているか、どのようなサービスの提供を受けているか、どのような時間帯にサービスの提供を受けているか、といった情報を取得することができ、他の販売促進キャンペーンなどを行う場合に参考にすることができる。また、各商品に付与した識別コードという情報がインターネット4 0経由で戻ってくることになるので、流通履歴の管理を行うことも可能になる。たとえば、識別コード付加装置1 1, 2 1において、どの識別コードをいつ出荷した商品に付加したか、という情報を記録しておくようにすれば、ある時期に出荷した商品がいつごろユーザの手に渡るのか、といった流通過程における滞留時間を把握することも可能である。あるいは、東海岸地区へ出荷する商品に付加する識別コードと、西海岸地区へ出荷する商品に付加する識別コードとを変える、というように、出荷地区ごとにそれぞれ付加する識別コードを区別できるようにしておけば、どの地区のユーザのサービス利用頻度が高いか、といった情報を得ることもできるようになる。

<<< § 3. いくつかの変形例 >>>

続いて、これまでに述べてきた実施形態の変形例をいくつか述べておく。

(1) 図4に示す実施形態1*, 2*, 3*は、図3に示す実施形態1, 2, 3のそれぞれの変形例を示すものであり、ユーザから第1の識別コードID (A) と第2の識別コードID (B) との双方が入力された場合に、これら2種類の識別コードの入力順に応じて、提供すべきサービスの内容を変えるようにしたものである。たとえば、実施形態1*の場合、2つの識別コードを、ID (A), ID (B) の順に入力した場合には、サービスS aが提供され、逆に、ID (B), ID (A) の順に入力した場合には、サービスS bが提供されることになる。ま

た、実施形態 2* の場合であれば、2 つの識別コードを、ID (A)、ID (B) の順に入力した場合には、サービス S 1 2 a が提供され、逆に、ID (B)、ID (A) の順に入力した場合には、サービス S 1 2 b が提供されることになる。同様に、実施形態 3* の場合であれば、2 つの識別コードを、ID (A)、ID (B) の順に入力した場合には、サービス S 2 3 a が提供され、逆に、ID (B)、ID (A) の順に入力した場合には、サービス S 2 3 b が提供されることになる。このように、複数の識別コードの入力順に基いて、提供されるべきサービスの内容を変えるようにすれば、よりバリエーションに富んだサービス提供が可能になる。

(2) 図 5 に示す実施形態 3** は、図 3 に示す実施形態 3 の別な変形例を示すものであり、第 1 の識別コード ID (A) と第 2 の識別コード ID (B) に、それぞれ複数通りのパターンを用意しておき、入力された識別コードのパターンに応じて、提供されるサービスの内容を変えるようにしたものである。図示の例では、第 1 の識別コード ID (A) には、ID (A 1) と ID (A 2) との 2 とおりのパターンが用意されており、実際に商品 x に付与されている識別コードは、この 2 とおりのパターンのうちのいずれか一方に所属することになる。同様に、第 2 の識別コード ID (B) にも、ID (B 1) と ID (B 2) との 2 とおりのパターンが用意されており、実際に商品 y に付与されている識別コードは、この 2 とおりのパターンのうちのいずれか一方に所属することになる。このように、第 1 の識別コードおよび第 2 の識別コードにそれぞれ複数通りのパターンを用意しておけば、その組み合わせによって、提示すべきサービスを種々変えることができ、バリエーションに富んだサービス提供が可能になる。図 5 に示す例の場合、種々の組み合わせにより、サービス S 1 ~ S 1 0 の 1 0 通りのサービスを選択的に提供することが可能になる。もちろん、2 つの識別コードを入力するケースについては、更に入力順に応じてサービスの内容を変えるようにすれば、更にバリエーションを増やすことも可能である。なお、複数通りのパターンを用意した場合には、個々の商品ごとに、あるいは価格帯が共通する商品群ごとに、それぞれ異なるパターンの識別コードを付与するようにすれば、商品ごとに与える付加価値にバリエーションをつけることができる。

(3) 図1にブロック図として示した構成は、本発明に係るシステムの機能に着目して、このシステムを機能ブロックとして示したものであり、実際の装置構成を示すものではない。したがって、たとえば、図示の構成例では、第1の識別コード発生装置10と第1の識別コード付加装置11とが別の構成要素となっており、第2の識別コード発生装置20と第2の識別コード付加装置21とが別の構成要素となっているが、装置10と装置11とを単一の装置で構成してもかまわないし、装置20と装置21とを単一の装置で構成してもかまわない。また、第1の識別コード発生装置10と第2の識別コード発生装置20とを同一の装置（たとえば、同一のコンピュータ）によって構成してもよいし、更に、これら装置10、20を、サービス提供装置30（たとえば、同一のサーバ装置）内に組み込んでしまってもかまわない。

(4) 上述の実施形態では、各識別コードの商品への付加は、数字や文字などを商品パッケージに印刷したり、数字や文字などの印刷物を商品パッケージに同梱したりすることによって行われ、ユーザは、このように肉眼で認識可能な態様で商品に付加されている識別コードを、端末装置を操作して入力することになる。しかしながら、商品へ識別コードを付加する手法は、必ずしも肉眼で認識可能な態様で行う必要はない。たとえば、バーコードの形式で商品に付加したり、磁気記録媒体や光記録媒体に記録した形式で商品に付加したりすることもできる。この場合、ユーザは、バーコードリーダーや、各記録媒体用のデータ読取装置を用いて、識別コードを端末装置に入力する操作を行うことになる。

(5) 上述の実施形態は、インターネットを介して、識別コードの入力を行い、サービスの提供を行っているが、本発明を実施する上では、必ずしもインターネットを介する必要はない。たとえば、ユーザ自身が所有するパソコン、携帯電話、ゲーム機器などをサービス提供装置30として利用することも可能である。具体的には、たとえば、CD-ROMなどの媒体配布や、インターネットからのダウンロードなどの方法を利用して、予め各ユーザに所定のソフトウェアを配布しておき、このソフトウェアをユーザが所有するパソコンなどに組み込むことにより、そのパソコン自身がサービス提供装置30として機能するようにしておくこともできる。この場合、ユーザはサービス提供装置30（パソコン）に対して直接識

別コードを入力する操作を行うことになり、サービス提供装置 30 から直接サービスの提供を受けることになる。

(6) 上述の実施形態は、2組の事業者について本発明を実施したものであるが、本発明は、複数の事業者が出荷する商品についてそれぞれ各事業者固有の識別コードを付加するようにし、複数の事業者によって共通のキャンペーンを展開できるようにした点が特徴であり、このキャンペーンに参加する事業者は必ずしも2組である必要はない。3組以上の事業者が共通のキャンペーンを展開し、各事業者がそれぞれ固有の識別コードを商品に付加するようにしてもかまわない。この場合、ユーザに対するサービスの提供は、キャンペーンに参加している全事業者の識別コードが入力されることを条件として行ってもよいし、一部の事業者の識別コードが入力されることを条件として行ってもよい。もちろん、入力された識別コードの数や種類に応じて、提供するサービスの内容を変えることも可能である。

<<< § 4. より具体的な実施例 >>>

最後に、図1に示すインターネットを利用した実施形態について、より具体的な実施例をいくつか述べておく。以下の各実施例は、前述した実施形態 3、3*、3**に関するものであり、菓子および玩具を購入したユーザが、パソコンを端末装置 51 として利用して、サービス提供装置 30 としてのサーバ装置にアクセスし、商品に付加されていた識別コードを入力することにより、ゲームの提供、クイズの提供、または易情報の提供などのサービスを受ける、という実施形態に係るものである。いわば商品に付加されていた「電子おまけ」として、ゲームの提供、クイズの提供、易情報の提供などが行われることになる。

(1) 基本概念：2つの識別コードで別の世界が展開する。1つの識別コードだけでもステージを体験できるが、2つの識別コードを取得して2つのステージを体験することにより、第3のステージへと進めるようなサービス。たとえば、識別コードID(A)の入力によりステージXの体験(第1属性のサービス)ができ、識別コードID(B)の入力によりステージYの体験(第2属性のサービス)ができ、両ステージをクリアすることにより、ステージZの体験(第3属性のサービス)ができる。

具体的には、たとえば、キャラクタの成長過程を楽しむ育成ゲームを提供する。識別コードID (A) を入力すると、第1属性のサービス、すなわち、学校ステージの育成シミュレーションゲームが提供され、識別コードID (B) を入力すると、第2属性のサービス、すなわち、会社ステージの育成シミュレーションゲームが提供される。そして、学校ステージと会社ステージの双方をクリアすると（当然、その時点までには、識別コードID (A)、ID (B) の双方が入力されていることになる）、生活ステージの育成シミュレーションゲームが提供される（第3属性のサービス）。この生活ステージへ入ると、更に別な識別コードID (C) が提供され、この識別コードID (C) を入力することにより、仮想都市空間内でビジネスを行うようなシミュレーションが可能となり、他のプレイヤーとのコミュニケーションを行うことも可能になる。

あるいは、クイズゲームを提供する。識別コードID (A) を入力すると、第1属性のサービス、すなわち、全国グルメクイズの出題がなされ、識別コードID (B) を入力すると、第2属性のサービス、すなわち、全国乗り物クイズの出題がなされる。更に、この2つのクイズジャンルからの出題が完了すると、あるいは所定の正解率でクリアできると（当然、その時点までには、識別コードID (A)、ID (B) の双方が入力されていることになる）、プレゼント付きクイズの出題がなされ（第3属性のサービス）、ここで正解率が高い場合には、プレゼントを得ることができる。あるいは、更なるクイズに挑戦するために必要な更に別な識別コードID (C) が提供される。

(2) 基本概念：2つの識別コードで1つのものをつくりあげる。たとえば、識別コードID (A) の入力によりパーツXの創造（第1属性のサービス）ができ、識別コードID (B) の入力によりパーツYの創造（第2属性のサービス）ができ、パーツX、Yの合成により1つのものの創造（第3属性のサービス）ができる。

具体的には、たとえば、キャラクタの形成過程を楽しむ育成ゲームを提供する。識別コードID (A) を入力すると、第1属性のサービス、すなわち、頭脳形成ステージへ進むことができるようになり、キャラクタの頭脳のパラメータの設定ができるようになる。また、識別コードID (B) を入力すると、第2属性の

サービス、すなわち、体型形成ステージへ進むことができるようになり、キャラクターの体型的なパラメータの設定ができるようになる。キャラクターについての頭脳と体型とをバランスよく組み合わせることにより（当然、その時点までには、識別コードID（A）、ID（B）の双方が入力されていることになる）、オリジナルキャラクターを完成させることができる（第3属性のサービス）。完成したオリジナルキャラクターについてはランキングを行い、上位にランキングされたキャラクターについては、アニメの番組などで使用されるなどの特典が得られる。

(3) 基本概念：2つの識別コードで合格チャンスが上がる。たとえば、識別コードID（A）の入力によりジャンルXへの挑戦（第1属性のサービス）ができ、識別コードID（B）の入力によりジャンルYへの挑戦（第2属性のサービス）ができ、両ジャンルX、Yの解答結果により合格（第3属性のサービス）ができる。

具体的には、たとえば、賞品付クイズゲームを提供する。識別コードID（A）を入力すると、第1属性のサービス、すなわち、全国グルメ編クイズの出題がなされ、識別コードID（B）を入力すると、第2属性のサービス、すなわち、全国乗り物編クイズの出題がなされる。合計正答数が50を越えると賞品がもらえる。全国グルメ編クイズでは正答数が40問、全国乗り物編クイズでは正答数が30問、というような場合、一方の識別コードだけでは、賞品獲得はできないが、両方の識別コードを取得することにより、全正答数は70問となり、賞品を獲得する（第3属性のサービス）ことができるようになる。

(4) 基本概念：2つの識別コードで参加権と関連情報入手が可能。1つの識別コードによって、何らかのゲームへの参加権が得られ、もう1つの識別コードによって、当該ゲームについての関連情報の入手が可能になる。たとえば、識別コードID（A）の入力によりゲームへの参加権Xが得られ（第1属性のサービス）、識別コードID（B）の入力により関連情報Yが得られ（第2属性のサービス）、参加権Xと関連情報Yとの双方が得られることによりゲームの目標をクリアする（第3属性のサービス）ことができ、更に次のステージへと進むことができる。

(5) 基本概念：2つの識別コードではじめて全機能が使える。1つの識別コ

ードだけでは、それぞれ一部の機能しか利用できないが、両方の識別コードによって全機能が使えるようになる。たとえば、他のユーザとコミュニケーションをとることができるサービスにおいて、識別コードID (A) の入力により、自己のメッセージをパーソナルページに掲載するとともに、他人のパーソナルページを閲覧する機能が得られ (第1属性のサービス)、識別コードID (B) の入力により、他人のパーソナルページに対して自己の意見を送信する機能が得られ (第2属性のサービス)、両識別コードID (A)、ID (B) の入力により全機能が得られる (第3属性のサービス)。あるいは、オークションの場を提供するようにし、一方の識別コードでは出品、他方の識別コードでは購入、両方の識別コードでは出品とともに購入ができるようにする。

(6) 基本概念：複数の識別コードパターンの組合せにより展開が変化する。識別コードID (A)、ID (B) に複数のパターンを用意しておき、その組合せにより異なるサービスを提供する。たとえば、RPGゲームにおいて、ID (A1) の入力によりステージ1のプレイが可能になり、ID (A1) およびID (A2) の入力によりステージ2のプレイが可能になり、ID (B1) の入力によりステージ3のプレイが可能になり、ID (B1) およびID (B2) の入力によりステージ4のプレイが可能になり、ID (A1)、ID (A2)、ID (B1)、ID (B2) の入力によりステージ5のプレイが可能になる。

(7) 基本概念：識別コードの入力順に応じて展開が変化する。たとえば、RPGゲームにおいて、ID (A) の入力によりステージ1のプレイが可能になり、ID (B) の入力によりステージ2のプレイが可能になり、ID (A) → ID (B) の順に2つの識別コードを入力することによりステージ3のプレイが可能になり、ID (B) → ID (A) の順に2つの識別コードを入力することによりステージ4のプレイが可能になる。また、識別コード自体に「当たり/ハズレ」をつけておき、「ハズレ」の場合にはステージ体験ができないようにしてもよい。

(8) 基本概念：複数の識別コードパターンを用意し、各パターンの組合せごとに結果を判断。たとえば、ID (A1) and ID (B1) の組合せについては結果1を、ID (A1) and ID (B2) の組合せについては結果2を、ID (A2) and ID (B1) の組合せについては結果3を、ID (A2) an

10021904-121301

d ID (B 2) の組合せについては結果4を、それぞれ提示する。

具体的には、たとえば、相性占いゲームを提供する。ID (A 1) and ID (B 1) の組合せについては「残念。最悪の相性です」なる結果を提示。ID (A 1) and ID (B 2) の組合せについては「ガンバレば吉」なる結果を提示。ID (A 2) and ID (B 1) の組合せについては「まずまずですな」なる結果を提示。ID (A 2) and ID (B 2) の組合せについては「相性抜群」なる結果を提示。

以上のとおり、本発明に係る商品についての付加サービス提供方法および提供システムによれば、いわゆる「電子おまけ」として、電子情報メディアへの利用に適した付加価値を商品に付与することができるようになり、複数の事業者の連携により効果的な販売促進が可能になる。

特 許 請 求 の 範 囲

1. 市場に流通させる商品に付加価値を与え、この付加価値に基いて付加的なサービスを提供する方法であって、

第1の事業者が出荷する商品に第1の識別コードを付加し、第2の事業者が出荷する商品に第2の識別コードを付加する識別コード付加段階と、

2種類の識別コードを同時にもしくは期間において別々に入力する第1の機能と、この入力した識別コードの一方が前記第1の識別コードであり、他方が前記第2の識別コードであることを確認する第2の機能と、通信装置を利用して所定のサービスを提供する第3の機能と、を有するサーバ装置を用意するサーバ装置準備段階と、

ユーザの操作する端末装置から前記サーバ装置にアクセスがあったときに、前記サーバ装置に前記第1の機能を実行させることにより前記端末装置から識別コードを入力し、前記サーバ装置に前記第2の機能を実行させることにより入力した識別コードの確認を行わせ、当該確認が得られたことを条件として前記サーバ装置に前記第3の機能を実行させることにより前記ユーザに対して前記所定のサービスを提供させるサービス提供段階と、

を有することを特徴とする商品についての付加サービス提供方法。

2. 市場に流通させる商品に付加価値を与え、この付加価値に基いて付加的なサービスを提供する方法であって、

第1の事業者が出荷する商品に第1の識別コードを付加し、第2の事業者が出荷する商品に第2の識別コードを付加する識別コード付加段階と、

識別コードを入力する第1の機能と、この入力した識別コードが前記第1の識別コードまたは前記第2の識別コードであることを確認する第2の機能と、通信装置を利用して第1属性のサービスまたは第2属性のサービスを選択的に提供する第3の機能と、を有するサーバ装置を用意するサーバ装置準備段階と、

ユーザの操作する端末装置から前記サーバ装置にアクセスがあったときに、前記サーバ装置に前記第1の機能を実行させることにより前記端末装置から識別コ

ードを入力し、前記サーバ装置に前記第2の機能を実行させることにより入力した識別コードの確認を行わせ、前記第1の識別コードまたは前記第2の識別コードのいずれか一方の入力が確認されたことを条件として、前記サーバ装置に前記第3の機能を実行させることにより前記ユーザに対して前記第1属性のサービスを提供させ、前記第1の識別コードおよび前記第2の識別コードの双方の入力が確認されたことを条件として、前記サーバ装置に前記第3の機能を実行させることにより前記ユーザに対して前記第2属性のサービスを提供させるサービス提供段階と、

を有することを特徴とする商品についての付加サービス提供方法。

3. 市場に流通させる商品に付加価値を与え、この付加価値に基いて付加的なサービスを提供する方法であって、

第1の事業者が出荷する商品に第1の識別コードを付加し、第2の事業者が出荷する商品に第2の識別コードを付加する識別コード付加段階と、

識別コードを入力する第1の機能と、この入力した識別コードが前記第1の識別コードまたは前記第2の識別コードであることを確認する第2の機能と、通信装置を利用して第1属性のサービス、第2属性のサービス、第3属性のサービスを選択的に提供する第3の機能と、を有するサーバ装置を用意するサーバ装置準備段階と、

ユーザの操作する端末装置から前記サーバ装置にアクセスがあったときに、前記サーバ装置に前記第1の機能を実行させることにより前記端末装置から識別コードを入力し、前記サーバ装置に前記第2の機能を実行させることにより入力した識別コードの確認を行わせ、前記第1の識別コードの入力が確認されたことを条件として、前記サーバ装置に前記第3の機能を実行させることにより前記ユーザに対して前記第1属性のサービスを提供させ、前記第2の識別コードの入力が確認されたことを条件として、前記サーバ装置に前記第3の機能を実行させることにより前記ユーザに対して前記第2属性のサービスを提供させ、前記第1の識別コードおよび前記第2の識別コードの双方の入力が確認されたことを条件として、前記サーバ装置に前記第3の機能を実行させることにより前記ユーザに対し

で前記第3属性のサービスを提供させるサービス提供段階と、
有することを特徴とする商品についての付加サービス提供方法。

4. 請求項1に記載の付加サービス提供方法において、

サーバ装置の第1の機能により第1の識別コードと第2の識別コードとの両方が入力された場合に、これら2種類の識別コードの入力順に応じて、サーバ装置の第3の機能により提供されるサービスの内容を変えることを特徴とする商品についての付加サービス提供方法。

5. 請求項1に記載の付加サービス提供方法において、

第1の識別コードまたは第2の識別コードのいずれか一方または双方に、複数通りのパターンを用意しておき、入力された識別コードのパターンに応じて、サーバ装置の第3の機能により提供されるサービスの内容を変えることを特徴とする商品についての付加サービス提供方法。

6. 市場に流通させる商品に付加価値を与え、この付加価値に基づいて付加的なサービスを提供する方法であって、

複数n組の事業者が出荷する商品にそれぞれ各事業者固有の識別コードを付加する識別コード付加段階と、

複数種類の識別コードを同時にもしくは期間において別々に入力する第1の機能と、この入力した各識別コードが各事業者の識別コードであることを確認する第2の機能と、通信装置を利用して所定のサービスを提供する第3の機能と、を有するサーバ装置を用意するサーバ装置準備段階と、

ユーザの操作する端末装置から前記サーバ装置にアクセスがあったときに、前記サーバ装置に前記第1の機能を実行させることにより前記端末装置から識別コードを入力し、前記サーバ装置に前記第2の機能を実行させることにより入力した識別コードが前記複数n組の事業者のすべてもしくは一部の識別コードであることの確認を行わせ、当該確認が得られたことを条件として前記サーバ装置に前記第3の機能を実行させることにより前記ユーザに対して前記所定のサービスを

提供させるサービス提供段階と、

を有することを特徴とする商品についての付加サービス提供方法。

7. 請求項1に記載の付加サービス提供方法において、

サーバ装置の第3の機能により提供されるサービスとして、ユーザの操作する端末装置に対するゲームの提供、クイズの提供、または易情報の提供を行うことを特徴とする商品についての付加サービス提供方法。

8. 市場に流通させる商品に付加価値を与え、この付加価値に基いて付加的なサービスを提供するシステムであって、

第1の識別コードを発生させる第1の識別コード発生装置と、

第2の識別コードを発生させる第2の識別コード発生装置と、

第1の事業者が出荷する商品に前記第1の識別コードを付加する第1の識別コード付加装置と、

第2の事業者が出荷する商品に前記第2の識別コードを付加する第2の識別コード付加装置と、

ユーザから異なる2種類の識別コードを同時にもしくは期間をおいて別々に入力し、この入力した識別コードの一方が前記第1の識別コードであり、他方が前記第2の識別コードであることを確認した上で、前記ユーザに対して所定のサービスを提供するサービス提供装置と、

を備えることを特徴とする商品についての付加サービス提供システム。

9. 市場に流通させる商品に付加価値を与え、この付加価値に基いて付加的なサービスを提供するシステムであって、

第1の識別コードを発生させる第1の識別コード発生装置と、

第2の識別コードを発生させる第2の識別コード発生装置と、

第1の事業者が出荷する商品に前記第1の識別コードを付加する第1の識別コード付加装置と、

第2の事業者が出荷する商品に前記第2の識別コードを付加する第2の識別コ

ード付加装置と、

ユーザから識別コードを入力し、この入力した識別コードが前記第1の識別コードまたは前記第2の識別コードであることを確認する機能を有し、前記第1の識別コードまたは前記第2の識別コードのいずれか一方が入力されたことを条件として、前記ユーザに対して第1属性のサービスを提供し、前記第1の識別コードおよび前記第2の識別コードの双方が入力されたことを条件として、前記ユーザに対して第2属性のサービスを提供するサービス提供装置と、

を備えることを特徴とする商品についての付加サービス提供システム。

10. 市場に流通させる商品に付加価値を与え、この付加価値に基いて付加的なサービスを提供するシステムであって、

第1の識別コードを発生させる第1の識別コード発生装置と、

第2の識別コードを発生させる第2の識別コード発生装置と、

第1の事業者が出荷する商品に前記第1の識別コードを付加する第1の識別コード付加装置と、

第2の事業者が出荷する商品に前記第2の識別コードを付加する第2の識別コード付加装置と、

ユーザから識別コードを入力し、この入力した識別コードが前記第1の識別コードまたは前記第2の識別コードであることを確認する機能を有し、前記第1の識別コードが入力されたことを条件として、前記ユーザに対して第1属性のサービスを提供し、前記第2の識別コードが入力されたことを条件として、前記ユーザに対して第2属性のサービスを提供し、前記第1の識別コードおよび前記第2の識別コードの双方が入力されたことを条件として、前記ユーザに対して第3属性のサービスを提供するサービス提供装置と、

を備えることを特徴とする商品についての付加サービス提供システム。

11. 請求項8に記載の付加サービス提供システムにおいて、

ユーザから第1の識別コードと第2の識別コードとの双方が入力された場合に、これら2種類の識別コードの入力順に応じて、サービス提供装置から提供される

サービスの内容を変えることを特徴とする商品についての付加サービス提供システム。

12. 請求項8に記載の付加サービス提供システムにおいて、

第1の識別コードまたは第2の識別コードのいずれか一方または双方に、複数通りのパターンを用意しておき、入力された識別コードのパターンに応じて、サービス提供装置から提供されるサービスの内容を変えることを特徴とする商品についての付加サービス提供システム。

13. 請求項8に記載の付加サービス提供システムにおいて、

サービス提供装置により提供されるサービスとして、ユーザに対するゲームの提供、クイズの提供、または易情報の提供を行うことを特徴とする商品についての付加サービス提供システム。

14. 請求項8に記載の付加サービス提供システムにおいて、

第1の識別コード付加装置または第2の識別コード付加装置のいずれか一方または双方が、出荷する商品のパッケージに識別コードを印刷する機能を有することを特徴とする商品についての付加サービス提供システム。

15. 請求項8に記載の付加サービス提供システムにおいて、

第1の識別コード付加装置または第2の識別コード付加装置のいずれか一方または双方が、出荷する商品のパッケージ内に識別コードの印刷物を添附する機能を有することを特徴とする商品についての付加サービス提供システム。

16. 請求項8に記載の付加サービス提供システムにおいて、

サービス提供装置が、第1の識別コード発生装置および第2の識別コード発生装置と通信する機能を有し、第1の識別コード発生装置および第2の識別コード発生装置への問合せにより、入力された識別コードについての確認処理を行うことを特徴とする商品についての付加サービス提供システム。

17. 請求項8に記載の付加サービス提供システムにおいて、

第1の識別コード発生装置および第2の識別コード発生装置が、それぞれ所定のアルゴリズムに基いて第1の識別コードおよび第2の識別コードを発生する機能を有し、

サービス提供装置が、前記所定のアルゴリズムに基いて、入力された識別コードについての確認処理を行うことを特徴とする商品についての付加サービス提供システム。

18. 請求項8に記載の付加サービス提供システムにおいて、

サービス提供装置を、ネットワークに接続されたサーバ装置によって構成し、ユーザの操作する端末装置から前記ネットワークを介して識別コードの入力を行い、ユーザの操作する端末装置に対して前記ネットワークを介してサービスの提供を行うようにしたことを特徴とする商品についての付加サービス提供システム。

要 約 書

電子情報メディアへの利用に適した付加価値を商品に付与する。

菓子メーカーXの出荷する菓子xには、第1の識別コードID(A)を付加し、玩具メーカーYの出荷する玩具yには、第2の識別コードID(B)を付加する。商品を購入したユーザは、パソコンなどの端末装置からインターネットを介してサーバ装置へアクセスし、購入した商品に付加されていた識別コードを入力する。サーバ装置は、ユーザが入力してきた識別コードが正しい識別コードか否かを照会した上で、インターネットを介して端末装置に対して、ゲームの提供、クイズの提供、易情報の提供などのサービスを行う。ID(A)もしくはID(B)のいずれか一方だけが入力されたときに提供するサービスに比べて、両方が入力されたときに提供するサービスの内容や品質を高めることにより、菓子xおよび玩具yの販売促進を図る。